第8回 羽生市立学校適正規模審議会

会 議 録

日 時	令和3年8月25日(水) 午前10時(会議終了:午前12時)	
場 所	羽生市役所301会議室	
委員出欠	【出席】 佐藤会長、藤間副会長、鳥海委員、駒澤委員、田沼委員、松本委員、中島委員、山本委員、木村委員、蓮見委員、福田委員、櫻井委員、立花委員 【欠席】 福島委員、島田委員	
事務局等	細村学校教育部長、須永教育総務課長、橋本学校教育課長、横山教育総務課長補佐	
会議の内容	1 開会 2 会長あいさつ 3 議事 (1) 小中学校の再編成に関する保護者アンケートの結果について (2) 具体的な適正規模・適正配置の計画の再検討(案)について (3) 答申について (4) その他 4 閉会	
会 議 録		
1 開 会	司 会 (教育総務課長補佐)	第8回羽生市立学校適正規模審議会を開催。 本日の会議については、非公開とすべき議事がないため、原則公開とする。
2 会長あいさつ	会 長	< 会長あいさつ >
	会 長	議事(1)について、事務局から説明を求めた。

<p>3 議事</p> <p>(1)小中学校の再編成に関する保護者アンケートの結果について</p>	<p>事務局 (教育総務課長)</p>	<p>議事(1) 小中学校の再編成に関する保護者アンケートの結果について説明。</p> <p>(資料1 小中学校の再編成に関する保護者アンケートの結果について)</p> <p>教育委員会では、羽生市立小中学校適正規模・適正配置に関する基本方針の策定にあたり、学校教育の直接の受益者である児童生徒や将来の受益者である未就学児の保護者の意見を参考にするため、アンケートを実施した。回答数は1,875件、回答率は46.4%であった。</p> <p>資料3 ページ、設問3「再編成の計画についてどう思うか」では、基本方針案に「賛成」は17.8%、「どちらかといえば賛成」は38.6%、「反対」は5.8%、「どちらかといえば反対」は14.5%、「わからない」が23.3%でした。「賛成」と「どちらかといえば賛成」を合わせると56.4%、「反対」と「どちらかといえば反対」を合わせると20.3%であった。</p> <p>設問4-1は賛成の理由を聞いたもので、「友達が増えるから」「お互いに切磋琢磨して成長することができるから」等6項目のほか、その他意見が58件あり、その内容は3ページから5ページのとおりである。</p> <p>6ページの設問4-2は反対の理由を聞いたもので、「学区が変わることで学校が遠くなるから」「少人数の方が一人一人に目が行き届くから」等6項目のほか、その他意見が56件あり、その内容は6ページから8ページのとおりである。</p> <p>9ページから26ページは、再編成に関するその他の意見276件である。これらの記述意見は、明らかな誤字脱字の修正以外は、原文のままとした。</p> <p>27ページは、地区別の賛成反対等の割合を表したものである。「反対」又は「どちらかといえば反対」が、新郷第一小学校区で63%、新郷第二小学校区で49%と高くなっている。また、三田ヶ谷地</p>
---	-------------------------	---

		<p>区、羽生南小学校区も 30%程度と比較的高くなっている。学区の変更、通学距離が遠くなることが懸念されているものと思われる。</p> <p>こうした結果を見ると、全体としては、「再編成に賛成」という意見が約 56%あり、一定の理解は得られていると思っている。その一方で、「わからない」が約 23%と、回答の選択肢の中で 2 番目に多くなっている。理由は色々考えられるが、関心をもってもらえるよう、情報提供に努めていく。</p> <p>「反対」は全体としては約 20%だが、地区によってその割合は様々であり、中には厳しい意見や不安、疑問が多数あった。</p> <p>事務局としては、学校の再編成は必要であるとの認識に変わりはないが、このアンケート結果を真摯に受け止め、再編成に対する理解が得られるよう、慎重かつ丁寧に進めていく。</p> <p>なお、このアンケート結果は、8 月中に羽生市ホームページで公開する。</p>
	会 長	事務局の説明に対し、意見・質問を求めた。
	委 員	アンケート結果の回答数の表記と実際に掲載されている数が合わないが何故か。
	事務局 (教育総務課長)	これについては、「特になし」という記述であったため、掲載を省いた。
	委 員	ほとんど同じ文面の回答があるが、アンケートはひとつの家庭から複数回答されているということか。
	事務局 (教育総務課長)	そのようなことも考えられる。事務局では、全く手を加えていない。
	委 員	その他の意見は、例えば、スクールバスや地域の関係など、項目分けをした方が分かりやすかったと

		<p>思う。ただ羅列されているだけで、飛び飛びに同じことが出てきたりしているの、公表時にできれば整理した方が良く思う。</p>
	<p>事務局 (教育総務課長)</p>	<p>ホームページで公開する際に、分かりやすく分類したい。</p>
	<p>委員</p>	<p>アンケートを実施するきっかけはどのようなことであったか。前回の会議の時は、アンケート実施の話が無かった。回答の中にも「今さらアンケートされても」などの意見があった。</p>
	<p>事務局 (教育総務課長)</p>	<p>地区説明会でもたくさんの意見があったが、説明会が終了後も色々な方から意見をいただいた。事務局の中でも直接保護者の意見を聞いた方が良くないかという考えがあり、さらに、市議会でもアンケートを取ったらどうかという質問があったため、それらを踏まえて実施することになった。</p>
		<p>アンケートでは、「なぜ、今さら」という意見もあったが、再編成の案を示した段階で、これについて保護者はどのように考えているのかを知りたいということで、この時期の実施となった。</p>
	<p>委員</p>	<p>説明会に参加した保護者が、説明会の中では手を挙げて意見を言いづらい雰囲気だったと言っていた。今回アンケートが実施されて、自分の意見を市に示せたということを喜んでいた保護者もいた。</p>
	<p>委員</p>	<p>設問 4-1 の賛成の理由で、いくつかの選択肢を挙げているが、簡潔すぎて本当はどのように捉えているのか分からないところがあると思う。「友達が増えるから」というのは、同級生は増えるが、友達ができるかというのは、きっかけにはなるが別だと思う。「お互いに切磋琢磨して成長することができる」については、正直できないと思う。指導力の差であるかもしれないし、良いことだということが書いて</p>

		<p>あるのかなと思う。「クラス替えが可能になる」は、問題ない。「体育の集団競技や音楽の合奏等、活動の幅が広がる」については、少人数でも縦割り班で活動したりして、学年を越えての交流があるので、活動の幅が広がり、少人数の方が役割をもらえるので良いと思う。「保護者の PTA 活動等の負担軽減」については、PTA でも地区ごとに役員を選出しているので、人数の少ない地区では、その中で選ばなくてはならないため負担軽減にならない。「削減した学校の維持管理の予算を子どもたちに還元」については、100%還元するわけではないのに、良くなるよと言っている感じがする。</p> <p>設問 4-2 の反対の理由の「学校が遠くなる」については、アンケートの回答で、スクールバスに関する意見が多くあり、ただ単に「遠くなる」というのではなく、そのことまで考えた方が良いと思う。「少人数の方が一人一人に目が行き届く」については、学業のことなのか、いじめのことなどを含めたことなのか読み取れず、簡単すぎる表現だと思った。</p> <p>設問の表現については、一般的に言われているメリット・デメリットについて、賛成はメリット、反対はデメリットのことを選択肢として挙げた。内容を詳しくして選択肢を増やすより、「その他意見」で自由に記述するようにしたので、保護者の生の意見は聞いているものと考える。</p> <p>学校ごと学年別の回答率は分かるか。未就学児から小学校低学年までが小学校の再編成の当事者になってくるため、回答の割合などが分かればと思った。</p> <p>全体の中での学年別回答割合は、設問 2 の結果として集計したが、学校ごとの学年別は、複数の子どもがいる保護者もいるため、正確な数値を算出することは難しい。</p>
	事務局 (教育総務課長)	
	委 員	
	事務局 (教育総務課長)	

	委員	<p>16 ページの下から 4 番目に「市からの回答の公表を望みます」とある。アンケート結果はホームページに掲載するとのことだが、結果のみの掲載か、それとも今の段階で回答できることも一緒に掲載することになるか。</p>
	事務局 (教育総務課長)	<p>全ての質問に回答することは難しく、また一部の質問に対してだけ回答するのも適切ではないと思うため、ひとつひとつ回答することは考えていない。アンケート結果を踏まえて今後審議会からの答申をいただき、基本方針を出す時が回答となると考えている。</p>
	委員	<p>中学生の保護者と未就学児の保護者の考え方は異なるのではないかと思うが、アンケートの集計結果から、未就学児、小学生、中学生それぞれの保護者の考え方の傾向の分析は可能か。小さな子どもがいる保護者は、小学校をメインに考えているので、スクールバスに関する事などに意見が集中しているのではないか。子どもの年代別に保護者が考えている意見が分かれば、審議会の協議に生かせるのではないかと思った。</p>
	事務局 (教育総務課長)	<p>正確な分析は難しいかもしれないが、検討する。</p>
	委員	<p>7 月 16 日に PTA 連合会の役員会があり、教育総務課長から基本方針(案)の内容と、現在に至る経緯の説明があった。その際に、各 PTA 会長から出ていた意見と、この度集計されたアンケートでの意見が、概ね合っている印象を受けた。</p> <p>先程、アンケートでの質問に対して回答を出せるか否かという話があったが、PTA の会議の中で出た質疑に対しても、教育総務課長が回答してその場で解決できるものもたくさんあった。反対意見をもつ</p>

		<p>ていた会長も比較的理解を示していて、その場で少しずつ考え方が変わっていく現象が起きていた。</p> <p>アンケートの回答の中には、不安からくる意見が多くあり、それに対する回答や対策ができれば、変わってくると思う。情報を公開できない部分もあると思うが、保護者が求めているものは説明であり、ホームページを見れば答えが出ていると言われても、関心が無い人は見ない、そうするとわだかまりなどがそのまま取り残されてしまう。関心が無い、問題意識が薄いことは、「わからない」という回答になってくるのだと思う。反対の人も、説明を受ければ物事を進めていかなければいけないと思い、ある一定の理解を示してくれると思う。</p> <p>情報提供という点では、アンケートの結果については、ホームページに掲載する。結果の概要と、詳しくはホームページを見て欲しいという通知を、回答のお礼を兼ねて保護者に配ろうと考えている。アンケート結果の概要は、広報 HANYU10 月号にも掲載する予定である。</p> <p>アンケートに対する回答は、各委員からの意見を踏まえ、良い方法を考えていきたい。</p> <p>PTA 会長に対して教育総務課長からの説明があったとのことだが、このアンケートを実施するにあたって、各 PTA に対しての説明会のようなものは行われたのか。地区説明会の出席者は大変少なく、PTA 関係者はほとんど出席しなかった地区もあったと聞いている。基本方針(案)の内容がほとんど理解されていない中でアンケートを取っても、意見が極端になってしまっていて、ある程度理解した上で実施した場合のアンケート結果とは相当乖離してしまうのではないかという疑問がある。</p> <p>アンケート実施についての事前のお知らせは、スケジュール的にできなかったが、PTA 連合会の会議</p>
	事務局 (教育総務課長)	
	委 員	
	事務局 (教育総務課長)	

	<p>委員</p>	<p>で、各校の会長に対し基本方針(案)の内容を説明しており、学校運営協議会やPTAの集まりで話が出たところもあると聞いている。</p> <p>周知が足りない、関心が無いなどの点について説明会やアンケートでも指摘を受けているため、今後も気を付けていきたいと思っている。</p> <p>現時点で回答できない内容もあると思うが、基本方針決定の次の段階として、地区ごとに協議会を組織して話し合っていくうちに、反対が多くて解決できなかったとしたら元に戻るのか。例えば、「わからない」から賛成、反対の意見が出せない、わからない中でこれだけ質問が出ているので、方向が決まってしまう前のここで反対するしかない。</p> <p>委員としての立場は分かっている、大枠を決めるということで前々回の会議で現在の基本方針(案)に賛成したが、細かい部分の意見がこれだけ出てくると、新郷第二小学校区から出てきている身として、反対意見になってしまう。新郷第一小学校区の方が住民が多いので、その意見も聞いて欲しいと思った。新郷第一小学校が西中学校に行きたい事情が良く分からなかったこともあるので、新郷第一小学校区から学識経験者としての委員がいても良かったのではないかと。また、このアンケート結果を見ると時期が早いのかかもしれないと思った。</p> <p>賛成意見は岩瀬小学校が中学校で別れなくて済むから、反対意見は、新郷第一小学校は西中学校だったのになぜ南中学校に変わるのかというものが多く、羽生のまちは大きく2つに分けても良かったのではないかとと思っている。</p> <p>大枠では賛成であっても、具体例を考えるとどうしても先に進まなくなってくるのではと思う。アンケート結果に対しては、意見を踏まえて進めてしまうのか、今日の会議の議事(1)と議事(2)の間のところを聞きたい。この後、どのような感じで進めるのか。</p>
--	-----------	---

(2) 具体的な適正規模・適正配置の計画の再検討(案)について	事務局 (教育総務課長)	<p>この後については、次の議題にも関係するが、アンケート結果と、これまでの審議会や地区説明会での意見を踏まえて、計画の再検討について協議したいと考えている。</p> <p>委員の任期が11月までであり、これまで熱心に審議していただけてきたので、結果を答申という形にしたいと思っている。</p> <p>基本方針として「大枠」を定めるのであるが、再編成を行うそれぞれの地域で準備組織を立ち上げ、具体的な話し合いが進んでいくと、そこでも様々な意見が出てくると思う。詳細な部分が、議論の状況によってどう進んでいくか、今のところ何とも申し上げられない。</p> <p>事務局としては、アンケート結果で「賛成」及び「どちらかといえば賛成」が全体の内56%であるから、再編成自体は進めていきたいと考えるが、再編成の具体的な計画については、議題(2)で提案する。考え直さないといけないところもあると思っている。</p>
	会 長	<p>議事(1)に関しては終結する。続いて、議事(2)について事務局から説明を求めた。</p>
	事務局 (教育総務課長)	<p>議事(2) 具体的な適正規模・適正配置の計画の再検討(案)について説明。 (資料2 具体的な適正規模・適正配置の計画の再検討(案))</p> <p>地区説明会及び保護者アンケートの結果を踏まえ、具体的な適正規模・適正配置の計画を再検討した。</p> <p>A案は、現在の基本方針案を変更しない。</p> <p>B案は、現在の基本方針案の1から5まで(再編成の基本的な考え方や留意点等)は変更せず、具体的な計画のうち、西中学校区と南中学校区の小学校の再編成は今後再検討とする。東中学校区は変更せ</p>

		<p>ず、現在の案のとおり令和7年度に小学校を再編成する、3中学校区とも将来の義務教育学校の設置は変わらない。</p> <p>C案は、現在の基本方針の1から5までは変更しないが、東中学校区も含め具体的な計画のすべてを今後再検討する、つまり再編成の方針だけを示す。</p> <p>それぞれの案のメリットとデメリットは記載のとおりである。まずは3案を提案するので、御意見をいただきたい。</p> <p>会 長 事務局の説明に対し、意見・質問を求めた。</p> <p>委 員 先に資料3の答申案に関して、添付された基本方針(案)の12ページで削除された部分について説明をいただきたい。</p> <p>事務局 (教育総務課長) 12ページの取り消し線が引いてある部分は、今の案がなくなった訳ではなく、資料2においてのA案からC案のいずれか若しくはその他の案のどれに決定するかによって、この部分の記述が変わるという意味である。</p> <p>A案は、岩瀬小学校の進学先の中学校が分かれてしまうことなどの地域分断の解消、羽生市全体の再編成のビジョンを示すことができる。</p> <p>B案は、地区説明会、保護者アンケートにおいて、新郷地区で特に反対の割合が高く、多くの意見があったことから、全体として再編成は検討するが、反対のある地区については、具体的な計画を現時点で決めず、時間を設けて引き続き検討していくこととなる。しかし、現在のところ教育委員会としてどのような計画が良いという案はもっていない。</p> <p>C案は、再編成の検討が進んでいることを市民にある程度分かってもらった上で、具体的な再編成の計画のすべてを再検討するものであるが、既に、複式学級の学校もあるため、一旦進捗が止まることへの対応が必要になってくると思われる。</p>
--	--	---

	会 長	<p>A案からC案で共通して言えることは、基本方針(案)の1から5に変更はないとのことだが、6はどのようなになるか。</p>
	事務局 (教育総務課長)	<p>6 具体的な適正規模・適正配置の計画については、A案では、記述と添付図面に変更なし、B案では、記述を変更し、それに対応した図面を添付、C案では、図面を外し、今後すべて再検討という記述になると考えている。</p>
	委 員	<p>当初から地区分断の解消ということを念頭に話し合ったので、岩瀬地区、新郷地区をどうすれば良いのかということでA案が作成された。委員としては、皆で作ったA案であるから、A案に賛成したいと思ったが、アンケート結果を読み、「なるほど、そういう考えもあるな」と、考えが少しずつ変わってきた。その結果、B案に落ち着くのかなと思っている。</p> <p>東中学校区は今まで通り進めて良いと思う。他の学校区については、まだ時間があるので、再検討しても良いのかなと思う。新郷第一小学校、新郷第二小学校は、分かれて中学校へ行っても良いのか、地域の皆さんの意見はどうなのだろうかということ。分かれても良いのであれば、新郷第一小学校は西中学校区のままでも良いのかなと思う。そのような形で、羽生南小学校は南中学校区の方が良いのか、岩瀬小学校区は・・・と、色々な意見が集約されていくのだろうと考えている。</p>
	委 員	<p>岩瀬小学校が中学校へ行く時に分かれるなど、地区の分断を解消していこうということで、意見が統一されての基本方針(案)だったと思う。ひとつ、見誤ったのが、新郷地区の件が一番結果的に問題だったことである。審議会委員に新郷第一小学校区から、自治会長、PTA会長などがいた方が良かったか</p>

		<p>もしれない。その後、私の聞いた範囲では、我々が思っていたよりも、新郷地区は別かれていても良いという意見が多いようだ。</p> <p>聞いた話であるが、新郷地区は、昔からの「宿通り」という関係や、羽生町との合併の経緯などから、地域の方には特別な思いがあるとのことである。</p> <p>新郷地区の自治会長が連名で要望書を提出されていることもあり、児童生徒数を考えるとA案しかないと思うが、何とか良い案を検討していかなければならないと思っている。B案でないとうまくいかないような気がしている。</p> <p>もう一点、審議会では、基本方針案は大枠として答申を出すこととなっているが、保護者が求めているのはもっと細かい情報であって、それに対してどう答えていくか、答えていかないと話が進んでいかないような気がしている。例えば、スクールバスはどうかという質問に、再編成をする学校区ごとの準備組織で考えていくという答えではなく、市としてある程度の方針を決めて、このようになりますということを示さないと、保護者が求めている回答にならない。審議会で詳細を決めなくても良いと思うが、事務局からある程度具体的な回答を出さないと、理解を得ることがなかなか難しいような気がする。</p> <p>委員の言う通り、やはりスクールバスに関する質問が多かった。どの程度具体的な回答が出せるか考えなければならないが、保護者の不安をできるだけ解消できるよう考えていきたいと思う。今後、情報発信、情報提供、説明をつくしていきたい。</p> <p>アンケートの回答では、義務教育学校の優位性を疑問視する意見があり、そこを強調しても保護者の理解を得られないような気がしている。運営の仕方は、今と大して変わらないのではないかと思い、義務教育学校が凄く良いと書いても、保護者の心に訴</p>
	事務局 (教育総務課長)	
	委員	

	<p>委員</p> <p>事務局 (教育総務課長)</p> <p>委員</p> <p>事務局 (教育総務課長)</p> <p>委員</p>	<p>えかけるようなことは、あまりないような気がする ので、他の面でメリットを挙げた方が良いのかなと 思う。</p> <p>B案では、西、南中学校区の計画を再検討すると あるが、以前事務局から示された2つの具体的な計 画案の内、現在の基本方針(案)ではない方になる ということか。それとも、またゼロから学区の編成を 考えることになるのか。</p> <p>事務局からは、以前、現行の基本方針(案)とは別 に、現在の中学校区は変わらずに、新郷第一小学校 と岩瀬小学校の西中学校区を再編成、岩瀬小学校の 南中学校区と羽生南小学校を再編成、新郷第二小 学校と須影小学校を再編成という案を出したが、ゼロ ベースで考えなければならないと考えている。</p> <p>示された3つの案の中ではB案が良いと思うが、 今後再検討する場合は、統廃合を行うかどうかを含 めての再検討も考えているのか。</p> <p>再編成を行うことには変わり無く、現在の案と は別の案を考えていくということである。</p> <p>将来ずっと西中学校区、南中学校区は現在の学校 の体制のままというのではなく、再編成はするが、 どのような組み合わせをすれば良いか、再編成の実 施時期も含めて再検討するということである。</p> <p>既に東中学校区のPTA関係者は、再編成に向けて 考え始めている。再編成の対象校のPTA会長3名が 集まって話し合いをしようとしていたが、コロナ禍 の関係で遅れているようである。自治会長、PTA会 長、保育園関係者を集めて勉強会を行う動きがあ る。</p> <p>少なくとも、東中学校区は危機的な状況なので再 編成を進めたい考えがあることを、委員の皆さんに</p>
--	---	--

	<p>委員</p>	<p>もお知らせする。</p> <p>新郷第二小学校区では、住宅が増えているところもあり、7年後に半分の人数になると言われてもピンとこない。基本方針(案)の6ページで、2025年の予測が1年前のデータから10数名増えているので(第1回会議資料 R1.5.1時点の推計79人、第3回会議資料 R2.5.1時点の推計93人)、6年後10年後も増えているかもしれない。</p> <p>再編成を行おうとする年に、学級数が3クラスになる学年もあるとデータで現れている。事務局では教室を増やして対応すると言っていたが、羽生北小学校以外は教室数に余裕が無く、あとは特別教室、図書室、コンピューター教室や会議室などをなくして普通教室にするということは、しわ寄せがくる。新郷第二小学校も、以前会議室だった部屋がコンピューター教室になり、さらにその後特別教室になり、現在は図書室がコンピューター教室と会議室を兼ねている。再編成をした結果、児童数が増え、教室を増やすということが本当に可能なのかと思う。</p> <p>今の実感としては、7年後8年後こうなると言われても、反対されるのは仕方ないと思う。保護者が家を建てるのは、学校から近い土地だからという理由が多いと思う。また、新郷第二小学校の近くに児童養護施設があり、川俣や手子林、須影にもあるが、特に下新郷と川俣は、学校が近いので作ったのではないか。</p> <p>大枠で決めるところであるが、スクールバスも何台必要か、バスの運転手の雇用はどうするか等、そこまで考えても、と言われるかもしれないが。地元の反対を押し切ってまでやるのがどうなのかという思いがある。</p> <p>東中学校地区の方は納得してくれているようなので、再編成を進めて良いと思うが、西中学校区と南中学校区は、まだ時期が早いのではないかと考えている。</p>
--	-----------	--

	<p>事務局 (教育総務課長)</p>	<p>委員の言う通り、今後の児童生徒数の推移にもよるので、再検討していく中で、施設の収容人数の面も考えていかななくてはならないところである。</p> <p>実際、地域によって人口が増えているという話も聞いており、基本方針の中でも児童生徒数の推移など社会環境の変化に応じて適宜見直しを検討することになっているので、仮にB案が採用され、いずれ西中学校区、南中学校区の適正規模・適正配置を考えていく時には、その中で最新の情勢を踏まえて児童生徒数の推計などを考えないといけないと思っている。</p> <p>直近の増減はあると思うが、現段階では、国の機関が発表した人口推計以外に推計のデータを持ち得ておらず、国のデータを基に推計するしかない状況である。</p>
	<p>委員</p>	<p>新聞記事にあったのだが、ICT化に伴いパソコンを導入することによって児童生徒の机を大きくする必要があり、そうなると、教室が狭くなってしまふ。今後作る教室は、これまでの3教室分の大きさを2教室にした方が良いと書いてあり、そのような事も考えに入れた方が良いと思う。</p> <p>同じく新聞に、「キャラ通じ地方創生」ということで、羽生市観光協会が全国ゆるキャラで行っている中で、少子高齢化対策が入っていたので、他市の意見も聞いて参考にして進めていって欲しい。</p>
	<p>事務局 (教育総務課長)</p> <p>委員</p>	<p>社会の色々な動きを見ながら、考えなければならぬと思っている。</p> <p>基本方針(案)の1から5は、そのままということで、お話させていただく。</p> <p>1 ページ中ほどで、「全国的に研究や取組が進められている(小中一貫教育や義務教育学校)」とあるが、羽生市でも試してみようかということなのか。</p>

	<p>2 クラス以上が適正と言われているが、本当なのか、疑問を感じる。</p> <p>2 ページの児童生徒数については、少なくなっているから統廃合するということではなく、少なくならない為にはどうしたら良いかということを考えてもらう手立てはないのか。市でも色々と頑張ってもらっているとは思いますが。昭和 59 年がピークで、そこから比べればだいぶ減っていることは分かるが、危機感をあおっているように見え、なぜ、ピーク時を参考にしなくてはならないのかと思う。</p> <p>3 ページの学級数の推移の部分で、特別支援学級の数を入れてないので、これを考えると学級数が増えている学校もあり、空き教室は無いのではないかと思います。</p> <p>5 ページ、2028 年度には再編成を行う案であるが、その時の児童生徒数の推計データが示されていないので、あれば良いと思う。</p> <p>8 ページ、適正規模適正配置の基本的な考え方の中で、クラス替えが可能な規模となるよう再編成を行うということだが、現在の新郷地区の学校のことを考えると、15 人から 20 人くらいでも大丈夫ではないかと思い、少ない人数では無理なのかということを考えていただきたい。</p> <p>9 ページ、羽生市が目指す小中一貫教育の中で、不登校問題の解決を図るとあるが、児童生徒数が多くなって目が行き届かなくなり、不登校が多くなるかもしれない。</p> <p>11 ページ、適正規模・適正配置を進めるに当たっての留意点の中で、児童生徒の精神的不安を軽減するとあるが、アンケート結果にもあるようにトイレの問題などがあり、30 年以上経過した校舎でも、改修すればあと 30 年は維持できるということなので、今通っている学校を改修して生活しやすくするのも手ではないかと思う。また、アンケートで、手子林小の学校名は変えたくないという意見があったことを含めて、校名変更について「単独校はこの</p>
--	---

	<p>事務局 (教育総務課長)</p>	<p>限りでない」となったのか。</p> <p>資料3については、現時点でのたたき台としての資料であると御理解いただければと思う。</p> <p>人口については、羽生市が推計していく中でも減っていくのは間違いない中で、この計画はあくまでも学校の再編成の計画であって、人口を増やす算段の計画は人口ビジョンとそれに基づく施策の計画が別にあって、進めているところであるので、ここには掲載していない。仮に色々な施策を講じたとしても、羽生市の人口は減っていくというのは間違いないという状況である。ピーク時の人数を示すことは、一番多い時と現在とを比べるというのが、現状を理解してもらう上で必要と思っている。</p> <p>空き教室の問題については、今後の児童生徒数の推移によって、今後変動していくこともあると思っている。児童生徒数推計で、西中学校区、南中学校区の再編成となる2028年(令和10年)の数値が無いことについては、推計に利用している「日本の地域別将来推計人口」において2028年の推計値が出ていないため、前後の年度の人数から想定するしかないという状況である。</p> <p>1 クラスの人数が少ない方が良いという意見もあるが、ある程度の人数がいた方が、学力が向上したというデータもあるため、一定の集団として良い教育効果を上げたいという思いが根底にある。</p> <p>財政的な面ももちろん避けて通れないので、基本方針(案)に記載した。既存の学校の整備については、再編成するから何も手をつけないという訳ではなく、必要な改修等は行っていくと考えている。</p> <p>学校名の件は、単独校はそのままの名称でも、新しい名称としても良いこととした。単独校とは、現在の案でいうと手子林小学校、羽生南小学校及び中学校3校である。</p> <p>これは、あくまでもたたき台であり、各委員から意見をいただいて作成できればと考えている。</p>
--	-------------------------	---

	<p>委員</p>	<p>現状維持を望んでいる声が強いと感じた。一方、羽生市の人口が減っているのは誰が見ても分かることである。</p> <p>先日のPTA連合会の会議で、再編成によって教育の部分が伸びてくれれば良いという意見があった。少人数だから教育が行き届いて良いとは言い切れないと思うが、デジタル化でそれを補完する方法も多くでてきており、これが良い方向に効果が現れれば、現状維持でも良いのかもしれない。コロナ禍で1人1人距離をとるような状況があったとしても、やはり社会に出たら集団で生活することが多くなっていくので、早い時点で多くの人と接することが、子どもにとってはメリットがあると思う。当面の現状維持にこだわって引き延ばしていくというのは、私個人の考えとは差があると感じた。</p> <p>手子林小学校の名前を変えたくないということについては、痛みを伴って再編成をしていく中、痛み分けという言葉が正しいか分からないが、名前を変えていくことは、将来的に義務教育学校に変わっていく経緯としてはどこかで必要で、それはそれで致し方ないと個人的には受け止めている。</p> <p>いずれにしても、これから子どもたちにどのような変化をもたらしていくかということが一番考えなくてはならないことで、現状維持より、何か変えていかなくてはならないのは間違いないと思う。少人数よりはある程度の人数で生活していった方が、学力だけでなく人間力が豊かになっていく可能性が高くなっていくだろうと思っており、そういうスタンスで会議に望ませてもらっていたが、反対の意見があったり、このままで良いという意見があるというのも、非常に興味をもって聞かせていただいた。できる事ならば、もっともっと加速的に色々な事が進んで、1日でも2日でも早く、計画が進むことを願っている。</p>
--	-----------	--

	委員	<p>B案に賛成で、東中学校区は現実的に人数が少なくなっているのでは仕方がないと思っている。西中学校区と南中学校区は、例えば村君地区のように人数が減り、複式学級が発生する見込みとなったら、再編成を進めますという文言を入れても良いかと思う。</p> <p>現在の人数が増えている状況だと再編成は考えられないので、人数が少なくなれば子どもの事を考えると、どうしたら良いのだろうということになると思う。羽生市としての再編成の条件ということで人数の目安を入れたらいかがか。</p>
	会長	<p>人数的なものは具体的に示していないが、適性規模・適正配置の基本的な考え方の「望ましい学級数の維持」で学級数については記述がある。</p>
	事務局 (教育総務課長)	<p>何人になったら再編成するという事は記していない。1学年2学級以上は必要と考えている。</p> <p>適正規模・適正配置の基本的な考え方として挙げた3点(望ましい学級数の維持、義務教育学校の設置、学校施設の集約)は、変えることは考えておらず、基本的な考え方は各委員承知の上で、議論していただいているものと考えている。</p> <p>例えばB案として西中学校区、南中学校区をいつ、どのように再編成するのかというのは、現段階で事務局でも案を持ち合わせていないが、検討を続けていく必要があり、いずれ人数が少なくなったら検討を始めるという訳にはいかないと思う。人口が減る、財政的にも厳しいなど、様々な状況の中で、羽生市教育委員会として早めに考えなければということで、審議会に諮問しており、羽生市全体として今後どうするかという考えをもっていないといけないと思っている。</p> <p>確かに、現在の状況を見ると児童生徒数が増える要素もあるが、いずれは減っていくということを踏まえながら、それではどのような方法が一番良いの</p>

	<p>事務局 (教育総務課長)</p>	<p>かということ、皆さんと考えていくことは続けなければいけないと考えている。</p> <p>基本方針案は、せっかくここまで審議いただいたので、答申をいただいて市民に示したいと思っている。</p> <p>A案からC案の中で、審議の結果これが良いとなれば、それを基に基本方針(案)の最後のページに決定した案を記載し、答申としていただくことを考えている。</p> <p>資料3に添付した基本方針(案)には、これまでの(案)に、網掛けの部分をたたき台として付け加えた。「3 適正規模・適正配置の基本的な考え方」では、審議会、地区説明会、保護者アンケートなどで、将来どのようなビジョンがあるのか、再編したらどのような所が良くなるのかなど、いただいた色々な意見を踏まえて、記述を加えた。「4 適正規模・適正配置を進めるにあたっての留意点」では、単独校の校名のことと、スクールバスについて現在示せることを書き加えた。ただし、あくまで素案であり、この後、各委員に意見を伺い、まとめていければと思う。</p>
	<p>会 長</p>	<p>資料2にあるA案からC案の中で、B案という意見がいくつかあった。さらにご意見をいただければと思うが、いかがか。</p>
	<p>委 員</p>	<p>基本方針(案)の6 具体的な適正規模・適正配置の計画のところ、取り消し線が引かれているところが削除されるということか。</p>
	<p>事務局 (教育総務課長)</p>	<p>取り消し線が引かれている部分は、A案についての記述となっているので、A案になればそのまま生きる、B案になればこの部分はB案としての書き方になる、C案になると6の項目自体がなくなることになる。</p>

	委 員	<p>A案からC案までのどれかがここに入るとい ことで了解した。それでは、B案に賛成す る。</p> <p>この場でA案からC案の中から選んで結 論とい ことで良いか。</p>
	事務局 (教育総務課長)	<p>次回の会議で最終的に決定していただ ければと 考えているが、今回でも次回でもど ちらでも構 わな い。</p>
	委 員	<p>A案になれば現在の基本方針(案)のま まで、B案 になったとき、東中学校区の再編成の 年は変わ ることなく、他の学校区を見直して いくこと になるとい うこと でよろ しいか。</p>
	事務局 (教育総務課長)	<p>B案となった場合、東中学校区の再 編成は 令和7 年に行 うが、西、南中学校区の再編成が いつに なる かは示 せない と考 えて いる。</p>
	委 員	<p>西、南中学校地区は、どのよう になる か分 かり ませ んとい う状 態で 公表 して いく のか。 再編 成の 時 期 も 分 か ら な い とい う こ と か。</p>
	事務局 (教育総務課長)	<p>「再検討していきます。」とい う形 とな る。 ど の 学 校 と ど の 学 校 が、 何 年 度 に 再 編 成 す る か を 再 検 討 し て い く とい う こ と で あ る。 再 編 成 の 時 期 も 示 す こ と は で き な い が、 早 い う ち か ら 検 討 を 始 め な い とい け な い と 思 っ て い る。</p>
	委 員	<p>川俣小学校と羽生北小学校との再 編成 はど うな る の か。</p>
	事務局 (教育総務課長)	<p>それも含めて、全部再検討するとい うこ と で あ る。</p>
	委 員	<p>川俣小学校は人数が増えてきて いる 状 況 で あ る</p>

	<p>が、現状で1クラス10数名の学年が多く、中には15人中女子が13人というクラスもあるので、個人的には、人数が何人以上いるから合併する、しないというのは難しいのかなと思う。</p> <p>東中学校区は基本方針(案)の公表後に地域でも再編成に向けた動きがあるということで、この計画は進めていくべきものと思っている。</p> <p>一方、反対している地区にも2割賛成している人がいる訳で、再編成を再検討とした場合に、「あの時賛成したのに」と言う人がいたり、当初示した案の通りの学校に行きたいという人も出てきたりするのではないかと。賛成している人もいるということ踏まえて、色々と考えていければと思う。</p> <p>村君地区で地域の方、保護者の意見を聞くと、学校がなくなるのは寂しいけれど、人数が少なくなってしまうのなら仕方がないという話が出ている。また、兄弟姉妹のある児童もあり、家庭数が10台になってしまうと非常に厳しく、今でも家庭の負担は大きい。アンケートの意見に、PTA負担のことを書いたものがあつたことも含め、B案を選びたいと思う。</p> <p>アンケートの地区別の結果で、東中学校区では、三田ヶ谷地区の反対意見が多いのが気になっている。</p>	<p>委員</p> <p>委員</p> <p>委員</p>
	<p>B案で良いと思うが、先々再検討していく時に、</p>	

		<p>学校区をどのような形に組み替えることになるか分からないが、西、南中学校区はどのように分けても、どちらかが多くてどちらかが少なくなり、施設のキャパシティに無理が生じるのではないかと思う。各小学校区の人数のバランスが偏ると、校舎を増築などしないと間に合わないということになるので、そのような考えも含める必要があるが、財政的に増改築はできないと思うので、その点が難しくなると思う。そのようなことを考えると、羽生南小学校や岩瀬小学校の学区がふたつに分かれることなどになり兼ねないので、基本的に分けないことを願いたい。</p> <p>スクールバスの件は、これから考えていくのだと思うが、停留所を何ヶ所か設けるなど、保護者に負担をかけないような形が良いと思う。</p> <p>羽生市の子どもたちのためにということで、この審議会があって、一方、羽生市のためにということ考えると、やはり人が集まらないと子どもも集まらない訳であるし、特定の範囲に集中させてしまうと住宅が建たない地域もでてきてしまい、羽生市が廃れてしまう。人がいなくなると子どももいなくなってしまうということも含めて考えていただきたい。</p> <p>家が建つということは、学校が近いからという意見もあるので、その辺りも念頭に考えて欲しい。住宅が無くなったら子どもがいなくなるので、子どもを増やすためには住宅を増やしていただきたい。地域の活性化も含めて学校の再編成を考えていただきたいと思う。</p> <p>将来を見据えた中で、まずは動いて地域の課題を解決する視点でB案を選ぶ。</p> <p>西、南中学校区を再検討することについては、保護者の不安を助長しないよう、しっかりした対応や情報提供が必要だと思う。</p>
	委 員	
	委 員	

(3) 答申について	会 長	<p>また、小学校と中学校を一体的に考えているところもあるが、まずは小学校の再編成をどう進めるかという視点も、考えた方が良くと思う。</p> <p>次回の会議において、どの案にするかを決定したい。続いて、議事 (3) について事務局から説明を求めた。</p>
	事務局 (教育総務課長)	<p>議事(3)答申について説明。 (資料3 羽生市立小中学校適正規模・適正配置に関する基本方針案について (答申) 素案)</p> <p>資料3は、答申の素案である。答申は、基本方針案と併せて、教育委員会に対する付帯意見を示す形としている。</p> <p>基本方針(案)の1ページから7ページまでは、児童生徒数の推移等の「令和2年度」を「令和3年度」に時点を修正する。</p> <p>答申案の2は、教育委員会に対する付帯意見で、内容は、このような形で記すという例である。ここに挙げた項目は、これまでの審議会での審議や地区説明会、保護者アンケートでいただいた意見を踏まえ、考えられるものを挙げた。他にも記すべきことがあると思うので、持ち帰って考えていただき、次回の会議で形にしたいと思っている。</p>
	会 長	<p>事務局の説明に対し、意見・質問を求めた。</p>
	委 員	<p>議事(2)適正規模・適正配置の計画と議事(3)答申案は、次回決定するとのことであるが、次の会議で清書された案を、さらに修正することも考えられるか。</p>
	事務局 (教育総務課長)	<p>事務局としては、次回会議の前に資料を送付し、考えていただいた上で、会議当日話し合っていて決定するというを考えている。</p> <p>次回会議の場で、どのような意見がでるのか、そ</p>

(4) その他	会長	<p>れを踏まえて答申という形にまとめていただければと思っている。</p> <p>議事(3)は終結する。答申については、本日いただいた意見をもとに、事務局で案を作成し、資料を郵送し、次回の会議で決定したい。</p>
	会長	<p>議事の(4)その他として、事務局から説明を求めた。</p>
	事務局 (教育総務課長)	<p>次回会議の前に事務局で答申案等を作成し、資料をお送りする。</p> <p>基本方針案としては、A案、B案、C案いずれかに次回決めていただきたいと考えている。A案の図面は、お手元にある通りであるが、B案については、案の図面を作成する。これは、B案に決定ということではなく、仮にB案となった場合の添付資料がどのようなイメージかということを見ていただく意味である。</p> <p>それらを基に、次回会議で御意見をいただければと思っているが、会議の前でも何かあれば、御連絡いただきたい。</p> <p>次回の会議は、10月20日 午前10時から、市民プラザ205研修室で開催する。会議は第9回目となるが、委員の任期が11月12日までとなっているため、最後の会議となる可能性がある。</p>
4 閉 会	会 長	<p>本日の議事については、すべて終了した。</p>
	司 会 (教育総務課長補佐)	<p>次回の会議については、改めて文書で案内する。</p>
	副会長	<p>< 閉会のことば ></p> <p>残りの期間もあまりないが、課題が多いという印象である。B案となった場合は、東中学校区については令和7年4月に新しい学校をスタートさせた</p>

		<p>い。それ以外については、今後検討ではあるが、ある程度具体的な内容が必要になってくると思う。</p> <p>重要なのは、適正規模・適正配置の基本的な考え方をこの審議会でもとめなくてはならないということ、それに沿ったかたちで、今後の再編成の具体的な事項を、学校、家庭、地域からなる準備組織に移していくことだと考える。</p> <p>第8回羽生市立学校適正規模審議会を閉会。</p>
<p>【配付資料】</p> <p>資料1 小中学校の再編成に関する保護者アンケートの結果について</p> <p>資料2 具体的な適正規模・適正配置の計画の再検討（案）</p> <p>資料3 羽生市立小中学校適正規模・適正配置に関する基本方針案について（答申）素案</p>		